

The service club to the YMCA



THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

“ TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2025年 11月会報 第443号

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町
5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

HP QR コード



主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Edward Ong (シンガポール)

主 題 信念、愛、行動 Faith, Love, Action

標 語 共に、より強く Together Stronger

アジア太平洋地域会長(AAP) 田上 正(熊本むさし)

主 題 信念と愛を持って行動しよう

Act now with faith and Love!

標 語 YMCA,ユースと共に地域社会に貢献しよう

Contribute to local society together with YMCA and Youth!

西日本区理事(RD) 中井信一(奈良)

主 題 世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!

Let's enjoy the YYY life together with our friends
all over the world!!

標 語 あなたに寄り添う。あなたを忘れない。

Stay with you. Never forget you.

六甲部長(DG) 柳 敏晴(神戸西)

主 題 温故知新 Visiting Old, Learning New!

標 語 六甲部にウェルビーイング!

We Rokkou-bu aims for wellbeing!

宝塚クラブ会長 多胡葉子

主 題 地域で見つかる!繋がる!ワイズ活動!

2025年 11月例会

日 時: 2025年 11月 12日(水)18時30分

場 所: 宝塚市西公民館ホール

会 費: 1,500 円

ドライバー: 安行英文・若林成幸

開会点鐘 会長 多胡葉子

ワイズソング 「いざ立て」 全 員

聖書・祈祷 青柳美知子

ゲスト・ビジター紹介 会長 多胡葉子

会 食

卓 話 「民謡の解説と演奏」 児玉宝謹 氏

まつさかき藝道学院 院長、幸真會 二代目會主

委員会報告

YMCA報告 担当主事 橋本 唯

誕生日のお祝い 会長 多胡葉子

ニコニコ・ファンド

閉会点鐘 会長 多胡葉子

西日本区 11月強調テーマ:BF ビルディング フェローシッ
プの意味を理解し国際奉仕団体の、メンバーとしてこの募
金の充実と活用に貢献しましょう。

国際・交流事業主任 中西賢一(熊本にしクラブ)

2025~2026 役 員	会長:多胡葉子 副会長:福田宏子 書記:若林成幸 会計:小林康男 監査:長尾 亘、風早寿郎 担当主事:橋本 唯 メネット連絡:小林貴美子 直前会長:長尾 亘
事業委員長	Yサ:武田寿子 CS環境:岡岡幸宏 EMC:福田宏子 国際・交流:岡野泰和 広報・ブリテン:若林成幸
特別事業 委員長	TIFA/NGO:小林康男 ファンド:郡家 学、多胡葉子 市民クリスマス:若林成幸
国際交流主査	石田由美子

11 月誕生日	なし
10 月例会実績	会員在籍数(A) 17 名 例会出席総数(B) 17 名 (内ズーム0名) (内訳) 会員(C) 12 名(内ズーム0名) メネット・アソシエト 3 (内ズーム0名) ゲスト・ビジター 2 名(内ズーム0名) メイクアップ(内数 D) 0 名 会員出席率 C+D/A 70.6% 例会充足率 B/A 100.0%
9 月実績 にここに ファンド	ニコニコ 20,000 円 (累計 20,000 円) ファンド タカラムネ △19,750 円 (累計 10,850 円) 真菰茶 △8,600 円 (累計 △4,46 円) その他 1,800 円 (累計 1,800 円) 合 計 22,550 円 (累計 8,510 円)

聖 句

「小羊が第七の封印を開いたとき、天は半時間ほど沈黙に包まれた」
新約聖書・ヨハネの黙示録8章1節

随想

「小羊が第七の封印を開いたとき、天は半時間ほど沈黙に包まれた」(1 節)。この沈黙の中、金の香炉を持って祭壇のそばに立った別の天使の手に多くの香が渡されました。この香は「聖なる者たちの祈り」(5 章 8 節)でした。

昔、神殿の中で、人間の罪が赦されて神の前に出ることができるよう、牛や小羊を屠って祭壇の上に焼いて献げる儀式がありました。その時、祭司長が乳香を粉々に砕き、祭壇の上に燃えている火を取って香炉の中に入れ、香を焚きました。その香が煙となってユラユラと天の上っていく様子を見て「神はこのいけにえを受け入れてくださったのだ」と信じる儀式が行われていたのです。

その出来事と重なって、ユラユラと天空にのぼってゆく香の煙のように、天の上にまで届けられた祈りが、今や、祭壇の前にある金の香炉に集められているのを、ヨハネは見たのです。

その祈りの中には、「主イエスよ、この罪を彼らに負わせないでください」と祈って殉教したステファノの祈りがありました。キリシタン迫害の中で「神様、今こそ沈黙を破るべきです。あなたがこの世の主であることをお示してください」と踏絵を踏む前に叫んだ信仰者の祈りもありました。交通事故で危篤中の子どもを抱きかかえて泣き叫んだ親の祈りも金の香炉に入れられていました。そして今、イスラエルの攻撃によって明日の命の保障がない人々の叫びも、金の香炉に入れられています。

しかも、その時、神は天上にあって天使や四つの生き物や長老たちがしていた賛美の大合唱を中断させたのです。そして、天使によって祈りが詰まった金の香炉が届くのを待っておられるのです。

「主よ、いつまでですか」。

この祈りが聞かれないのかと、どれだけ思ったことでしょう。祈りは自己満足か一時的な精神安定剤でしかないのだとってしまう中で、否、祈りが漏れなく御前に集められていたことを知ったヨハネは、意を強くして祈ります。神は、賛美を中断させてまで私たちの祈りを受け止めてくださる方であることが分かったからです。

宝塚教会 牧師 浦上結慈

10 月ゲストスピーカー

児玉宝謹 こだまよしのり 氏

まつさかき研究所 代表、まつさかき藝道学院 院長

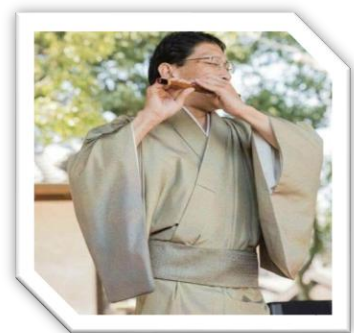
幸真會二代目會主、民謡指導家

幼年期はテクニトーンを習得し、中学高校時代は吹奏楽部でトランペットと指揮者を担当。

'90 年春、先代である父 幸謹(たかのり)の逝去に伴い、22 歳で日本民謡幸真會二代目会主(当時)を後継。

一人二芸が一般的な民謡界に於いて初めて、三味線弾き唄いを始めとする全パートを網羅。指導者を輩出する指導家を目指し、後進の育成に尽力。

独自のコミュニティ構想を持ち、アーバンファーム型サステナブルニューアースコミュニティ「文化のくに」を構築中。



10 月第 1 例会報告

10 月の第一例会は、10/8(水)18:30 より宝塚市西公民館ホールで開催されました。ゲストスピーカーに(認定)宝塚 NPO センター理事長の中山光子さんにお越しいただき、「シングルマザーハウス With を取り巻く環境」と題して、貴重なお話をしていただきました。

シングルマザー With は、シングルマザーの方々に対する就労支援、居住支援、フードシェアリングを行うことを目的としてスタートしましたが、今は地域と繋がる場所、地域のハブのような存在になっているそうです。それは、アパート 4 室のうち 1 室をコミュニティールーム「ただ居間」として活用することによって生まれていました。この 1 室から、地域の方々によるおかえり食堂(夕食)やいってらっしゃい食堂(朝食)が始まったり、近隣大学の学生さんたちによる活動が行われたりと、「ただ居間」のドアを開けることで地域との繋がりづくりが実現されていました。お話の後は、中山さんのお話で得た学びについての感想や、今後宝塚ワイズも一緒にできることをやっていきたいという声がワイズメンから上がりました。

各委員会報告及び、10/4(土)に行われた余島感謝礼拝の出席者による報告等があり、多胡会長の閉会点鐘で閉会しました。

橋本 唯



10 月第 2 例会議事要旨

日 時 10 月 15 日(水)午後 6 時 30 分～8 時 45 分

場 所 宝塚市立西公民館

出 席 多胡会長、石田、岡野、金岡、小林、郡家、武田、長尾、若林、

議 題

1) 11 月～12 月の例会

11 月 12 日(水)

スピーカー 児玉 宝謹(よしのり)氏 演 題 「民謡の解説と演奏」

12 月 クリスマス例会

- ・ 日時・場所 12 月 6 日(土)午後 6 時～9 時。ワシントンホテル8階 ガスライト
- ・ 会費10000円 30名以上の参加を予定し、大阪土佐堀クラブに参加意向を確認する
- ・ プログラムはクリスマス礼拝とバンド演奏とし関係者に打診する。

2) 六甲部部会 11 月 15 日(土) 場所 ホテルクラウンパレス神戸

参加者確認

- ・六甲部会に関して各クラブ担当依頼のための六甲部役員会

10 月 20 日(月)午後 6 時 30 分～ ・神戸 YMCA 出席者 多胡・石田

3) チャリティランに関して

- ・チャリティラン委員会からの各クラブへの献金依頼

各クラブ 20,000円 と個人献金 3,000

- ・参加方法 タカラムネの販売と仮装ラン(仮装:グリム童話「ブレーメンの音楽隊」)

4) 市民クリスマス「みんなでつくる ONe Christmas」に関して

12月13日(土)午後 2 時から 宝塚市立ベガホール

5) きらりと輝くアート展に関して

- ・日時・場所 2026年3月27(金)～29(日) 兵庫県立原田の森美術館

準備委員会 11 月 22 日(土)午後1:30～ 神戸 YMCA 出席 金岡・多胡

- ・宝塚クラブは、壁がなければ・プラザコム・希望の家などに作品の応募を呼びかける

6) 宝塚クラブ40周年を迎えるにあたっての協議

- ・記念事業として各人からアイデアを出し合うことになった。岡野ワイズから「宝塚に YMCA を再興」が提案され、若干の意見交換を行った。他のアイデアも募り、引き続き協議する。

- ・なお会合後、記念事業を2027年5月としていたことは誤り、2028年5月実施予定に修正。

8) 11 月号 ブリテン

編集案に基づき寄稿分担を協議した。例会報告・・・橋本・若林、聖句随想・・・浦上牧師、講師プロフィール・・・多胡、ジャガイモ報告・・・郡家・小林、「さよなら余島」・・・武田・多胡、部会報告・・・石田・多胡、誕生日・・・該当者なし 投稿締め切り 10月27日

9) その他

- ・ファンド事業ジャガイモに関して報告

- ・はんしん自立の家 40 周年記念行事

11 月 1 日 出席予定 石田・小林夫妻・若林夫妻・多胡、お祝い金支出 10,000円

- ・タカラムネと真菰茶の袋詰めなどの作業

10月22日(水)13時30分から、西公民館にて

- ・チャリティーラン小道具類作り 11 月 19 日(水)13 時 30 分から

- ・各部会・周年行事への参加

10 月 25 日 (土) 西中国部部会 広島 YMCA

11 月 8 日 (土) 瀬戸山陰部部会(由志園)

11 月 15 日 (土) 六甲部部会(ホテルクラウンパレス神戸)

10) 会員不適切行為の告知並びに再発防止啓発のお願い

第 28 回西日本区大会前日の理事杯ゴルフコンペ(芦屋クラブが幹事)において、会員(京都部所属)による不適切行為が発生した。この事態を受けて、西日本区理事 中井信一・直前理事 鶴丹谷 剛・次期理事 岡村遍導氏連名の告知並びに再発防止に関する注意喚起が全会員に発出された。

当クラブでもこの事案を重く受け止め告知を共有しワイズメンの行動規範(ロースターp52「クラブ会員としてしてはならないこと」)の遵守を申し合わせた。

若林成幸

ありがとう余島！ 余島キャンプ送別礼拝に参加して

10月4日、75年間神戸YMCAが大切にしてきた余島キャンプ場が閉鎖されるので、送別礼拝が現地で行われ、多胡さんとともに日帰りで、参加してきました。悔しい、寂しいそしてとても残念な思いで、余島を訪れましたが、雨模様という予報でしたが現地に着くころには曇りそしていつもの穏やかな島の風景が私たちを迎えてくれました。余島に関係した多くのスタッフ、元リーダーたちが全国から集まり、現役リーダーが集会場の周りをきれいに掃除して迎えてくれました。75年前まだ戦後まもなくで、物資も十分でないときに青少年たちに自然の豊かさを実感し、仲間とともに協力して生きることの大切さを体験させようとキャンプを開始し、当時の小豆島の町長さんをはじめ地元の協力を得て、余島キャンプが実施され、多くのリーダーたちが育っていきました。送別感謝礼拝には、群馬から元神戸東教会で今井元総主事が現役のころから教会の修養会などで、余島をよく利用していた川上牧師が奨励をしてくださいました。川上牧師は余島でたいせつに培われてきたスピリッツは、それぞれの場所で継続される、決して消え去ることはないとはげましてくださいました。またシアトルYMCAから副総主事や長年の友人であり、YMCAとの深い絆を大切にしてくださっているトムホースリー元副総主事が駆け付けてくださり、交流の大切さを実感しました。島はリゾート開発を新しい所有者が模索しているようですが、一時的な快楽のために自然の豊かさが破壊されたり、隔たりのない人間関係が失われないように祈るのみです。〔

武田寿子



75年に渡り、子ども、青少年達を育ててきた余島キャンプ場の閉場。75年間のキャンプ場として多くの方々の関わりに感謝して感謝礼拝が余島で開催された。大学卒業後神戸YMCAにスタッフとして働いたたった2年間だったが、夏には余島でキャンパー達、リーダー達と過ごした思い出は忘れがたい。当時のキャンプ場からは大きく様相が変わったキャンプ場施設になっていった。が、キャンプ場に入るたびにその独特の懐かしさは変わらない。故郷に帰ってきた思い。幾つになっても懐かしい思い出の場がなくなるのは耐えがたい気持ちに駆られる。そのような思いで参加した感謝礼拝だった。参加者の一人一人が、悲しみに沈んでこれで終わったとの思いで参加する人たちはいなかったのでは。たとえ余島の場合の火は消えても国内、海外各地に散らばっている余島キャンプ魂はいずれどこかで火が灯りより大きな輪となって広がっていくのでは。とそのことを願い信じて余島を離れた。・

多胡 葉子



2025年度六甲部第一回役員会報告

10月21日に六甲部第一回役員会が神戸YMCA会議室で役員20人参加のもと開催された。主な議題は11月15日に開催される六甲部部会に於ける協議。

部会への現在登録者数は予定の100人を超えて103名。

プログラムに関しては部会前にEMCシンポジウムが開催されるが、講演会、懇親会ともに同じ部屋で開催予定となる。

当日の役割についても案が提出されたが、後日事務局の方から各クラブ当てに依頼をする。

その他、物品販売に関しては宝塚クラブからタカラムネと真菰茶の販売を依頼した。

部会に於ける協議のあと、六甲部第二回評議会の日程に於ける5月中旬への変更の提案がなされたが、それらを踏まえて六甲部部則を見直す必要があるとして、事務局側から、それらの協議をするために4組の委員会を設定。検討委員会の設置が承認され、後日メンバーは事務局から各クラブに打診案を送ることになった。

報告 多胡 葉子

部会参加報告

中部部会

10月4日(土)、富山自遊館で開催された中部部会に参加しました。この週末、生憎の雨で富山自慢の立山連峰に美景は見られず残念！

～ワイズは YMCA とユースのために～と言うテーマで西日本区各地から、そして輪島から、合計90名近い参加者で交流と学びのひと時を持ちました。

講演は富山出身で東京都市大学教授の伊藤通子さん。主題「仕事は“教育の改革”」でピースポートによる世界一周体験を多くの写真を使って話され参加者一同、引き込まれました。

翌日午前中、中井信一理事と富山県美術館の「現代ポップアート展」を鑑賞。

ニューヨーク駐在経験のある中井理事と作品を見ながら何度か行った世界の大都市、ニューヨークを懐かしみました。

それにしてもサンダーバードの敦賀乗り換えはちょっと不便です。

石田 由美子



西中国部部会

10月25日(土)13:30から広島 YMCA で開催された第24回西中国部部会に宝塚から一人参加しました。雨空の肌寒く感じる中、70名弱のメンバーが各地から集まり「平和」を考える機会になりました。

2年前早朝出発のバスで宝塚へ来て感動のミュージカルを上演した I PRAY のメンバー達に会いたい事と、その時の「平和のバトン」の講演者、弓狩匡純さんから伺っていた小倉桂子さん(平和のためのヒロシマ通訳者グループ代表)のお話を聞きたかった事の2つが大きな目的でした。共に目的が達せられて良い時間を持てました。

懇親会は10分ほど離れたジャズバーで岩国みなみクラブの坂田王将ワイズ達のジャズバンド演奏、その後のディスコタイムで「平和は音楽から」を楽しみました。

ただ、この報告書を書き出す前に大阪サウスクラブの有田和子ワイズの突然の訃報を目にしショックで息をのみました。3 週間前富山でランチを共にしたり、今回再会を喜んだり、大阪サウスクラブ70周年記念例会を熱くアピールされていた姿勢のいい元気なお姿が嘘の様です。心から天上での安らぎをお祈りします。

石田 由美子





ジャガイモ事業報告の件

去る 10 月 11 日じゃがいもの荷卸し作業、宅配、配達、個々持ち帰り分等、無事終了致しましたことご報告致します。

又、目標額達成もあり安堵しております。

年に一度のお祭りのようなじゃがいもファンデ！
多くの発注、荷下ろし、配達、ストック場所、事務面等々多岐にわたりご尽力ご協力頂いた皆様には敬服と感謝を申し上げます。

全国紙芝居まつり宝塚大会、盛大に開催

全国紙芝居まつり宝塚大会も、10 月 18、19 日の 2 日間が無事終了しました。大きなトラブルもなくホッとしています。「あっちこっち紙芝居」は、ソリオメインプラザ、文化芸術センター、中央図書館でそれぞれ約 100 人、西公民館で約 70 名のお客様に観ていただけたようです。一般の方、参加者も合わせて約 400 人ということです。大会の方もソリオホール他に全国、世界から約 400 人が集まり、学びや交流、互いに演じ合うということをしました。ホテル若水での懇親会、とことん紙芝居も楽しかったです。

ワイズさんが準備してくださったタカラムネはどこでも好評で「わー可愛い！」と喜んでいただきました。いただいた 185 個の内、91 個を子どもたちに配ることができました。

開会式で歌ってくれた宝塚少年少女合唱団のこどもたち 40 人、あっちこっち紙芝居 4 カ所にきてくれた子どもたち 51 人です。残りの 94 個をソリオホールで 100 円で参加者に売らせていただいたら、全て売れました。ちょうどいいお土産になったようです。本当にお世話になりありがとうございました😊

紙芝居サークルちょうちょ代表 桐畑珠里



香櫨園地域×大手前大学×西宮 YMCA 甲山デイキャンプ

9 月 28 日、西宮 YMCA と大手前大学の学生が西宮市立甲山キャンプ場において、地元小学生(香櫨園小学校学童保育・放課後キッズ利用者)を対象とするデイキャンプを実施し、大学生 11 名、香櫨園小学校の子どもたち 33 名が参加しました。

大手前大学のゼミ生が企画をし、予算組みや会場確保なども含めて、主体的に全体をマネジメントしました。プログラムは、野外料理(カレー)の後、みんなで作ったお昼ごはんを食べ、川で遊ぶものづくりをしてその後、川遊びを楽しみました。



YMCAがハブとなることで、地域の大学生と子どもたちとの交流が生まれ、地域でのコミュニティの活性化につながっていると感じています。

秋には同じメンバーで、香櫨園小学校で行われる地域のお祭りにも参加を予定しており、ここで生み出された地域価値をより大きなものにできるよう、大学生共に取り組んでいきたいと思っています。

橋本 唯